

令和6年度 泉地区 幼保小教育交流事業活動報告

活動テーマ

「大人も子どもも混ざり合う幼保小連携の実現に向けて」

活動テーマについて

「大人も子どもも混ざり合う幼保小連携の実現に向けて」

・泉地区実行委員会では、小学校・認定こども園・幼稚園・保育園の大人(保護者・教職員)も子ども(児童・園児)も、活動を通してそれぞれの思いをもって混ざり合うことで、お互いを大切にし、誰一人取り残さない、そして、誰もが幸せな成長を実現するための連携を進めていくことを目指しています。

交流事業対象の園・校数

- | | |
|--------|-----|
| ・ こども園 | 8園 |
| ・ 幼稚園 | 6園 |
| ・ 保育所 | 28園 |
| ・ 小学校 | 15校 |

年間活動報告

1 地区実行委員会

- (1)第1回 4月25日(木)
- (2)第2回 11月15日(金)
- (3)第3回 2月17日(月)

2 園長校長会総会

- (1)第1回 6月26日(水)
- (2)第2回 2月 3日(月)

3 健やか子育て講演会

- (1)11月15日(金)

4 担当者会

- (1) 6月28日(金)
- (2) 2月3日(月)



健やか子育て講演会

- 1 日 時 令和6年11月15日(金) 15時30分～
15時15分 受付開始
- 2 会 場 横浜市立中和田南小学校 体育館
※相鉄いずみ野線 ゆめが丘駅下車 徒歩15分
または、市営地下鉄 下飯田駅下車 徒歩10分
- 3 演 題 「 大人も子どもも混ざり合う幼保小連携の実現に向けて 」
- 4 講 師 青山 雄太 先生(ヒミツキチ森学園 グループリーダー)
- 5 参加対象 小学校教諭・保育士・園長・校長・その他

活動報告③ 公開授業研究会

1 泉区一斉授業研究会(B研)

- (1) 日 時 11月20日(水) 14時～
- (2) 会 場 泉区各小学校
- (3) 内 容 道徳・特別活動・特別支援・学校図書館・情報教育・
学校食育・保健・生活・総合・外国語

2 泉区一斉授業研究会(A研)

- (1) 日 時 1月22日(水) 14時～
- (2) 会 場 泉区各小学校
- (3) 内 容 国語・社会・算数・理科・音楽・図画工作・家庭・体育

上飯田小ブロック活動報告①

上飯田小学校 上飯田幼稚園 明成幼稚園 YMCAいずみ保育園
善隣館幼稚園 白梅いずみ保育園

運動会



年長児との給食交流



幼保小連携研修会

上飯田小ブロック活動報告②

上飯田小学校 上飯田幼稚園 明成幼稚園 YMCAいずみ保育園
善隣館幼稚園 白梅いずみ保育園

☆ 1・5年と年長児の交流



☆ 保育体験



2024/11/12



上飯田小ブロック活動報告③

上飯田小学校 上飯田幼稚園 明成幼稚園 YMCAいずみ保育園
善隣館幼稚園 白梅いずみ保育園



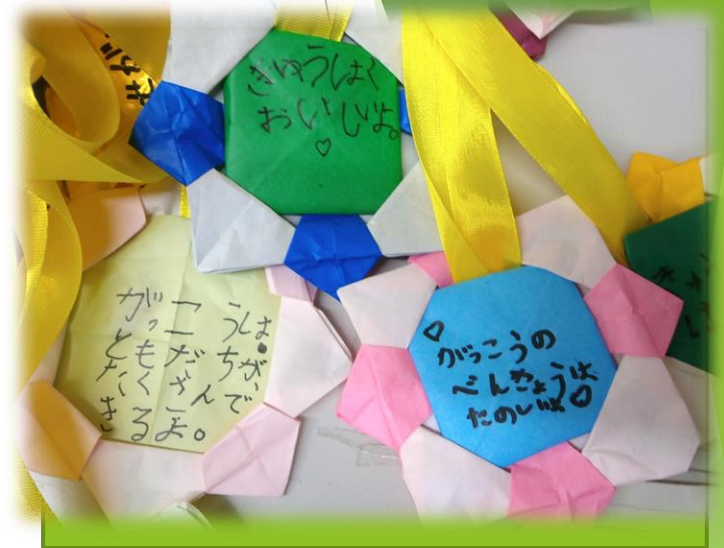
6年保育体験

- ・「仕事」を考えるきっかけになった。
- ・「先生」と呼ばれ、緊張と責任を感じられた。
- ・小さい子どもを相手にする大変さを知った。



1年・5年と年長児の関わり

- ・年長児を思う心が、他者理解の力につながった。
- ・笑顔の年長児を見て、喜びを感じられた。
- ・年下の園児を思う優しい気持ちをもてた。



成果

- ・卒園児の様子を知ることができた。
- ・小学校で大切にしていることが分かった。
- ・前に小学校のイメージをもつことができた。

下和泉小ブロック活動報告①

下和泉小学校 なかよしこども園 くるみ保育園

1年生 生活科の学習 「あきとともにだち」



「どんぐりやはっぱをつかって
おみせやさんをしたいな。」



おみせに分かれてしなものの作りスタート



「年長さんをよぶまえにリハーサルを
しよう」



いよいよ年長さんをむかえて本番！



案内



受付



説明



ゲーム



下和泉小ブロック活動報告②

下和泉小学校 なかよしこども園 くるみ保育園



1年生は、生活科の「あきとともだち」「どんぐりやはっぱをつかっておみせやさんをしたいな。」という活動から、秋の材を使っておもちゃなどをつかって、「幼稚園や保育園の子をよびたいな。」という思いをもちました。



園との交流当日は、案内係が校門までお迎えに行き、会場までやさしく道案内していました。年長さんは、初めての小学校にドキドキしながらも、しっかりと話をきいていました



数日後、交流した園の先生が学校にお礼の手紙を届けてくださいました。これには1年生も大感激でした。先生の思いも伝えることで、活動の価値づけをすることができました。

下和泉小ブロック活動報告③

下和泉小学校 なかよしこども園 くるみ保育園

まとめ

- 1年生は、年長児との交流を通して自分自身の成長を確かめ、自己有用感を高めることができる。
- 5年生は、来年度最高学年になったときに新1年生とのつながりがもて、どのように関わっていけばよいかの見通しをもつことができる。

成果と課題 来年度に向けて

◎教職員・保育士のご意見

- 幼稚園や保育園、小学校のそれぞれの立場からの話も伺えるのが良かった。
- 教職員・保育士として、子どもたちをどう育てていきたいかを話したり、それぞれの情報交換ができたするのは、とてもいいと思った。
- 様々な園や他の小学校での幼保小の交流の仕方や目指している子どもの姿、育てたい子どもの姿を知ることができた。
- 級職員・保育士が、もう少しディスカッションをする時間があると良いと思いました。
- 幼保小で一緒に活動できる機会を考える場を今後も行えたら良いと思いました。

◎来年度に向けて

- 第1回担当者会の時期を早めて、早い時期から担当者同士の顔が見える関係をつくりたい。
- 第2回園長・校長会総会は、書面総会として、「実践交流会」で各ブロックの情報交換の時間を増やしたい。